

希学園 第410回 小5公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第410回公開テスト 小5国語 解説動画(2026年7月12日実施)	https://vimeo.com/1208981529/d0c0015b00

1

ウ

2

ゾウ道

3

(記述題)

4

ウ

(5)「チンパンジーとゴリラ」も可

(6)「眼」も可

5

ゴリラ

と

チンパンジー

6

目

7

年齢

8

動物

9

そんなとき

10

人

Y

ま

Z

だ

11

a

完全

b

周辺

c

位置

2

1

a

量

b

生地

c

中世

2

X

つ

Y

む

Z

ぶ

3

イ

4

(記述題)

5

自由参加

6

ウ

7

ア

8

ア

9

ウ

10

ア

11

ウ

1

3

ゾウ道は果実がなる樹
木を最短距離で訪問す
るように通っているの
ベ、食物を共有する
は共通点が多いから。

(同意可)

2

4

友だちとつき合うのに
お金がかかると。
お金がかかると。

(同意可)

配点

1 10・11 2 1・2 各2点×12=24点

1 3 2 4 各6点×2=12点

その他 各4点×6=64点

100点

① (安藤智恵子『西のゴリラは樹上で眠る』より)

1 Aから順に「しかし」「また」「例えば」である。

2 直後に「ゴリラが通った」「痕跡」について書かれているが、その「痕跡」をどこで探すかということが次の段落で述べられている。

3 線②は段落冒頭の一文である。段落の残りの部分に——線②についての説明がある。——線②に「近道」という言葉がふくまれており、次の行に「最短距離」という言葉があることに注目したい。

4 糞について書かれているところをたどっていくと、「糞の内容物は」で始まる段落があり、その段落に「……がわかるのだ」と書かれている。

5 直後の文に「ゴリラの場合……チンパンジーであれば……」とあり、この二種を「見分ける」にはどうすればよいかという話になっていることがわかる。

6 この段落は「目線」について書かれており、直前の文には「自分がゴリラになったつもりで」とある。「ゴリラの目を通して歩く」とは「ゴリラが見るように見ながら歩く」ということである。

7 糞の大きさについては二つ前の段落に書かれている。「年齢によって大きさが異なる」「大きさを計測することで、年齢を区分することができる」とある。

8 アリについて書かれている段落はほかにもあった。「食痕は」で始まる段落に「動物性タンパク質としてアリなどを時々食べる」と書かれている。

9 ◎の文に「歯形の大きさをだいたい判断できる」とあり、何を判断するのかが問題となる。——線④「この二種」の続きに「食痕を見分けるのは難しい」とあったことが記憶に残っていると話が早かったであろう。

10 X「人為的」は、「自然のままではなく、人の手が加わっているさま」。Y「まれ」は、「めったにないさま」「めずらしいさま」。Z「おびただしい」は、「ひじょうに多いさま」。

11 a「完」のあしの部分をいいかげんに書かないように。「貝」の下の部分のようにしてはいけない。b「周」は同音の別字に注意、「辺」はしんによるの画数に注意する。c「置」も同音の別字に気をつけたい。

② (河合二湖『黒い森のケーキ』より)

1 a「量」は同訓異字に気をつけたい。「量る」は重さや体積について用いる。他に「測る」「計る」「図る」などがあるので使い分けを確認しておきたい。b「生地」は「きじ」と読むときと「せいち」と読むときがあり、意味がまったく異なる。頻出の熟語である。c「中世」は古代と近世(近代)のあいだの時代。

2 X「つややか」は、「うるおいがあつて美しいさま」。Y「おもむろに」は、「ゆつくりと」「ゆるやかに」。Z「とつぷり」は、「日が沈んであたりが完全に暗くなるさま」。

3 「ふと気づくと、芽衣ちゃんは、手を止めてぼんやりしていた」についての話は次の段落にも続いており、そこには「芽衣ちゃんは、襖のほうを見ていた。襖の向こうはおばあちゃんの部屋らしい」と書かれているが、今その部屋におばあちゃんがいるわけではないのでア・エは除外される。イの「体調があまりよくないのに働いている」については、さらに続く部分の会話で「おばあちゃん、元気？」ときかれた芽衣が「うん、前よりは。……最近は週五で仕事してる」とあることから確認がとれる。

4 会話をたどっていくと「つき合うのにかくお金がかかるの」が見つかる。「つき合う」という動詞には「だれと」にあたる内容が必要なのでそれを補う。

5 もちろんお金がないから不参加なのだが、◎の文にあてはまる四字の言葉がない。高校の語学研修には参加するのに、ニュージールの語学研修には参加しない理由と考えると、ポイントは「全員参加」か「自由参加」かであることがわかる。

6 直後の「たんまり愚痴を聞いてもらって」に注目したい。二人の会話からも、明らかに芽衣の家庭のほうが貧しいのだが、みさきは芽衣の話を聞くより自分の悩みばかり語っており、芽衣が聞き役に回っていることがわかる。

7 「心のなかにストックして」において、「いざとなったら」たよるものである。

8 「マルタに行けるだけでじゅうぶんリッチだって。うち、お金ないからさ。」と芽衣はこだわりなく言っていた。本文に「ふわふわと軽く」とあるが、これは「現実感がない」ことの表現として用いられていた。

9 「たんまり愚痴を聞いて」くれ「アドバイスを」くれる芽衣が、「みさきちゃんと、会えてよかった」と言ってくれたのである。

10 「あの黒い森」「わたしの黒い森」がどのような場所かは、「赤ずきんが……」の段落で比喩的に語られている。

11 本文に「仲はいいよ」とあったので、ウの「打ち解けられずにいる」は誤りである。